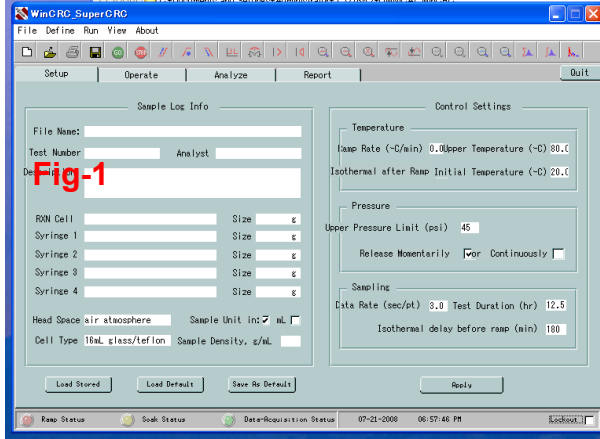
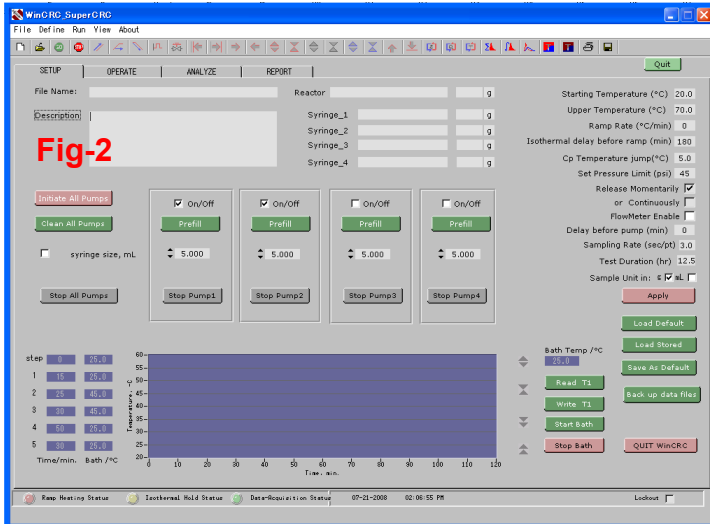


Technical Note テクニカルノート No.TN-54/1R '11-04-22

Title: SuperCRC用WinCRC2000(旧)とWinCRC-Turbo(旧・新)の相違点



SuperCRCの制御解析ソフトウェアは
 第2世代SuperCRCのWinCRC2000(Fig-1)、
 第3世代SuperCRCのWinCRC-Turbo(前期 Fig-2)
 および、WinCRC-Turbo(後期 Fig-3)
 第4世代SuperCRCのWinCRC-Turbo1.3 以上WindowsXP
 SuperCRC WinCRC-Turbo1.4 Windows7
 WinCRC2000の800×600ピクセルの画面からWinCRC-Turbo
 では1024×768ピクセルの広い画面となり、シリンジ・ポンプや
 第2世代、第3世代CRCの説明はテクニカル・ノートNo.TN-30 参照
 第1世代CRCはCRC90という名称です。



WinCRCソフトウェアのアップグレードあるいは
 PCの故障によりWinCRCソフトウェアを再インス
 トールするときに必要となる“熱量校正パラメータ
 設定”について説明します。

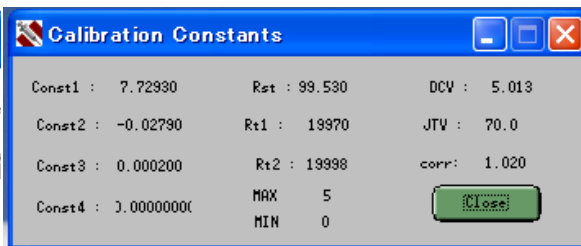
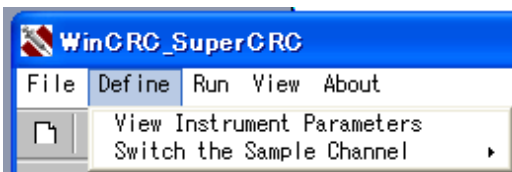
SuperCRCの検出器は出荷調整段階で熱量校正
 されたとき、それぞれ固有の熱量校正パラメータ
 を求め、制御ソフトウェアにこの熱量校正パラメ
 タが読み込まれています。
 WinCRC2000とWinCRC-Turbo(前期)のソフトウ
 エアではCRC出荷後にこの熱量校正パラメータを
 日本国内で変更することは一切できません。

第2世代のWinCRC2000と第3世代のWinCRC-Turboの熱
 量構成パラメータを読むには

- ①WinCRC2000 またはWinCRC-Turboの初期画面で
 コマンド・ラインの“Define”をクリックして
- ②“View Instrument Parameters”をクリックします。
 クリックすると3列4行のテーブルが表示されます。
 この画像をJPEGファイルとして別のPCに保存するか
 13個の項目を読みテキストファイルにしておけば
 再インストール時にこの値の手動入力が可能です。

第2世代のSuperCRCのPCが故障した場合、
 WinCRC2000ソフトウェアは納入時に付属してき
 た2枚のフロッピーディスクとナショナル インスツ
 ルメンツDAQカードのドライバーを使って
 WindowsXPマシンに再インストールします。

第3世代のSuperCRC/WinCRC-Turbo(前期)の
 PCが故障した場合、納入時に配布された8cmCD
 はデータ解析専用のため、WinCRC-Turbo(後
 期)のソフトウェアを再インストールします。



第2世代のWinCRC2000のPCがダウンした場合、新しいPCにWinCRC2000を再インストールする
 ことが不可欠です。一方、データ解析ソフトウェアには解析機能が格段に強化されたAKTS/
 CalistoやAKTS/Thermokineticsを使用することが可能です。



Technical Note テクニカルノート No.TN-54/2R '11-04-22

Title: SuperCRC用WinCRC2000(旧)とWinCRC-Turbo(前期・後期)の相違点



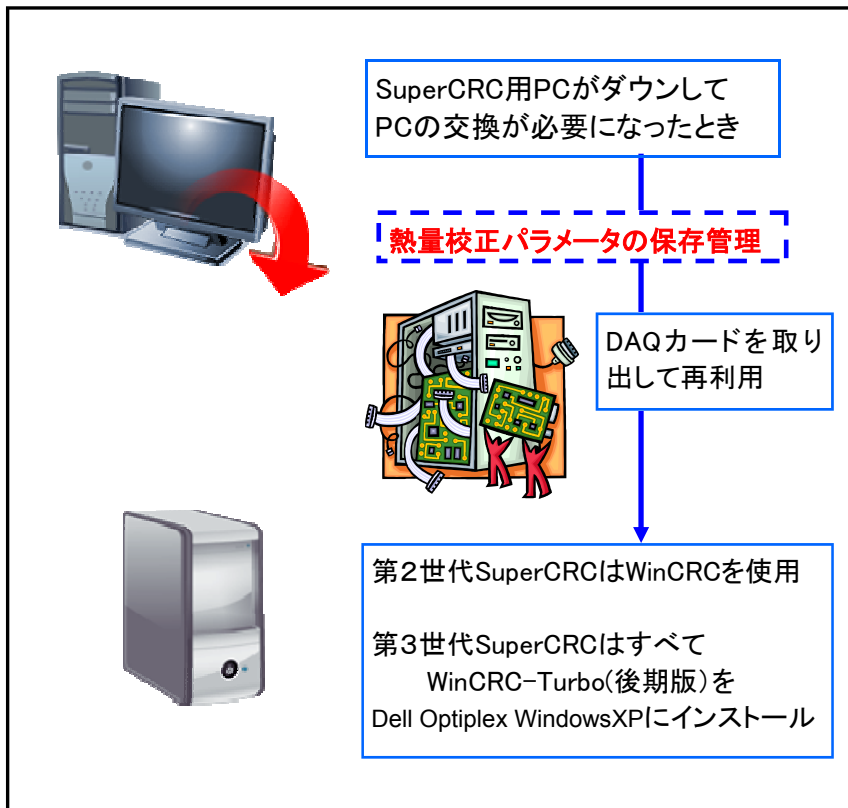
```

Const - メモ帳
ファイル(F) 編集(E)
CONST1:7.2473
CONST2:-0.0243
CONST3:0.0002
CONST4:0
RST:99.72
RT1:19995
RT2:20000
VDC:5.006
CORR:1.04
MAXVAL:20.0
MINVAL:-2.5
JTV:70.0
YEAR:2008
MONTH:6
DAY:20
    
```

名前	サイズ	種類
BUTTONS		ファイル フォルダ
CRC DATA		ファイル フォルダ
Const	1 KB	構成設定
Data へのショートカット	1 KB	ショートカット
SYRINGE	1 KB	DAT ファイル
WinCRC	827 KB	アプリケーション
WinCRC	27 KB	H ファイル
WinCRC	1 KB	構成設定
WinCRC.uir	195 KB	UIR ファイル
WinSplash	1 KB	H ファイル
WinSplash.uir	178 KB	UIR ファイル

WinCRC-Turbo前期と後期版の違いはオプションのシリンジ・ポンプがOEM版(前期)からChemyx版(後期)に変わったことです。最も大きな変更点はSuperCRC熱量校正パラメータ・ファイルの取扱いです。

WinCRC-TurboがインストールされたC:\ProgramFiles\OminiCal_WinCRCディレクトリのC熱量校正パラメータが書込まれたファイルConstがあります。このファイルをクリックするとNotePadでテキストとして読むことができます。このテキストを編集して保存するとSuperCRCの熱量校正が編集されてしまいます。決してこのファイルを編集してはなりません。



SuperCRCのDAQカードは
 CRC90 ISA bus
 第3世代SuperCRC PCI-1200
 第3世代SuperCRC PCI-6023E
 第4世代SuperCRC PCI-6220
 が使われています。

DAQのドライバーは
 PCI-1200,PCI-6023e はWindowsXP用
 ドライバーを使っています。
 これらのドライバーはWindows7には
 対応しません。
 従ってWindowsXPパソコンが故障した
 場合、Windows7では対応できません。
 WindowsXPパソコンについてはいずれ
 起きる故障に備えておく必要がありま
 す。

第4世代SuprCRC以降のOS環境は
 Windows7となります。

SuperCRCユーザの皆様へ

SuperCRCの熱量校正パラメータの数値を保管するか、納入時のFDやCDROMを保管管理され
 ていればトラブルに対して迅速処理が可能です。

